

施設カルテ

【基本情報】

					自動計算
					報告日
					2025/7/31
資産番号	5-(1)-1	施設用途	保健衛生施設	施設構造	01.鉄筋コンクリート造
主幹部署	保健センター	地区区分	精明地区	所在地	双柳371-13
施設名称	保健センター	建物名称	保健センター	建築年度(年)	1980
建築面積(m ²)	385.21	延床面積(m ²)	1,056.92	耐用年数(年)	50
階建/階	3階	建物取得価額(円)	131,928,000	公債残高	0
用途地域	第二種住居地域	建ぺい率(%)	60%	容積率(%)	200%
敷地面積(m ²)	1,302.12	貸室面積(m ²)	-	部屋数(室)	-
営業時間	8:30~17:15	休日	土日祝日	駐車場(台)	15(福祉センターと共用)
身障者用トイレ	有	手すり	有	スロープ	有
自動ドア	有	点字ブロック	無	車いす用エレベーター	無
自然エネルギー	無	屋上・壁面緑化	無	LED化	無
アスベスト	無	アスベスト対策完了日	-	冷暖房設備	有
耐震基準	【旧耐震基準】 耐震診断 実施済 ⇒耐震化工事 必要	代替電源設備	有	調理設備	有
耐震補強実施	未実施	通信設備	有	入浴設備	無
耐震診断完了日	平成29年1月10日	避難所指定	無	計画収容人数(人)	352
耐震補強完了日	-	備蓄倉庫	無	運営方法	直営(市)
正規職員(人)	21	会計年度任用職員(人)	14	指定管理者等従業員(人)	0
設置目的	地域保健に関する事業を地域住民に行う施設				

【歳入】

(単位:円)

科目	令和4	令和5	令和6
使用料	28,652	25,895	27,495
手数料	0	0	0
指定管理者使用料収入	0	0	0
補助金	0	0	0
交付金	0	0	0
負担金	0	0	0
その他収入	0	0	0
歳入合計	28,652	25,895	27,495

【歳出】

(単位:円)

科目	令和4	令和5	令和6
光熱水費(ガス)	332,082	237,000	506,580
光熱水費(水道)	54,108	46,226	42,691
光熱水費(電気)	1,253,540	659,354	1,541,447
修繕料(施設)	495,000	2,025,100	98,890
修繕料(備品)	0	0	0
備品購入費	0	0	0
委託料	2,262,188	2,379,760	2,665,300
手数料	146,850	94,600	104,500
使用料・賃借料	0	0	0
その他支出	39,220	91,100	160,380
人件費	330,726,560	204,241,280	238,123,240
歳出合計	335,309,548	209,774,420	243,243,028

【利用状況】

年度	令和4	令和5	令和6
営業日数(日)	359	245	244
施設利用人数(人)	59,714	55,811	55,570
1日当たり施設利用人数(人/日)	166	228	228

【その他】

改修	完了年月日	改修費用(円)	改修内容
劣化状態	不具合の箇所	不具合の状況	
	福祉センターとの渡り廊下の屋根部分	防水層の劣化による雨漏り	
	2階廊下と3階女子トイレのすべり出し窓	落下の危険性があるため、開閉不可にし固定	
	1階予防接種室と2階研修室の移動式しきり	仕切りが斜めに傾く、固定用ストッパーが下まで止まらない	
	福祉センターとの渡り廊下の天井部分	雨漏りによる天井材の剥がれ2か所	
	福祉センターとの渡り廊下の天井部分	雨漏りによる天井材のシミ	
	3階プレイルームのエアコン	配管破損によりガス漏れの可能性があるため、使用停止中(令和5年6月7日確認)	
	給水システム	受水槽・高置水槽共に電極保持器端子の腐食等	
	照明器具	照明器具(非常用照明を含む)は蛍光灯が主であり、製造停止前にLED照明への切替が必要	
1階多目的トイレ	配管の劣化により排水不良		
特記事項 (個別施設計画を踏まえ担当者として特に取り組んだこと)			
施設の長寿命化の方針のもと、修繕しながら施設を維持管理している。			
懸念事項、施設の方向性			
<p>妊婦、乳幼児連れの親、高齢者も利用する施設でありながら、エレベーターが無く、ベビーカー、車いす等を停めるスペースが無い。毎月、乳幼児の健診としての施設利用も多いが、乳幼児の事故についての安全対策が十分でない設計であること。また、事業に合わせて毎回、机や椅子を移動して会場を作り替えるため、床や仕切り戸の消耗が激しい。</p> <p>施設が老朽化している上、空調機器等の緊急修繕を行うケースが増えている状況である。空調、ガス、電話回線、電気照明等については経年劣化が著しく、不調や故障の原因となるとともに、各メーカーの生産・対応終了により今後さらに修繕が困難になることが予想される。</p> <p>なお、平成28年度に実施された耐震診断調査実施時に以下の調査も行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●石綿含有建材調査の結果 保健センター建物の中に、石綿含有の可能性のある建材がある。 ●屋上防水調査の結果 ウレタン防水は劣化促進が激しくトップコートがなくなり、ウレタン層が露出していて、亀裂が入っている箇所が多く見受けられる。また防水層の破断箇所も発生している状況で、雨水がこの劣化箇所から侵入していることが確認されている。 			